

2005年8月2日

広島市長 秋葉忠利 様

日本共産党広島市会議員団

団長 皆川 恵史

幹事長 中森 辰一

中原ひろみ

村上あつ子

藤井とし子

石綿排出作業による大気汚染の防止条例制定の申し入れ

石綿による健康被害の実態は、いまや全国的に広がっており、公害問題に発展しています。

日本共産党広島市議団は去る7月14日、市長に対して申し入れ書を提出し、①市の公共施設（住宅・学校等）での石綿の使用状況の早急な調査と公表、②基町市営住宅での石綿による被害防止策——を求めたところで。その後、被害実態がさらに広がりを見せているなかで、公共・民間を問わず、今後の石綿排出作業による大気汚染を防止するために市独自の基準を定めた条例制定の必要性が指摘されています。

「現在及び将来の市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことのできる環境の実現を図る」（広島市環境保全基本条例）ためにも、表記の条例を早急に制定されることを求めるものです。